論文題目

所属　名前 ※採用後記入箇所

テンプレートについて

このファイルは、日本哲学会web論集『哲学の門：大学院生研究論集』に投稿するためのWord用テンプレートです。このテンプレートには論文題目、節タイトル、本文、ブロック引用、文献表、脚注、それぞれの書式が設定されており、書式を崩さずに執筆することで投稿規定に沿った形式で執筆できます。

テンプレートの書式

このテンプレートは、文字サイズ10.5ポイント、1行40字×35行、両端揃えに設定しています（脚注は文字サイズ10ポイント）。フォントは、日本語：游明朝、英数字：Times New Romanと設定しています。

テンプレートの使用方法

スタイルのボックス内に「論文題目」、「節タイトル」、「論文本文」、「ブロック引用」、「文献表」、「脚注文字列」がありますので、執筆に必要なスタイルを適宜選択してください。

ブロック引用について

ブロック引用の際は、次のように前後に一行分の空行を空けてください。

例：このように引用してください。このように引用してください。このように引用してください。このように引用してください。このように引用してください。このように引用してください。

このように本文に戻ります。

脚注について

注は、各ページに脚注で付してください。文末脚注から変更になりましたのでご注意ください。書誌情報は、文献表にまとめてください。

例：さらにこのことが物理影響説でも機会原因説でもなく予定調和説を採用する際の論証[[1]](#footnote-1)に活用される。

文献表について

文献は、論文の最後に「文献」「参考文献」などの見出しをつけた上、まとめて記載してください。文献表記について特定の書式は指定しませんが、一般的な学術的慣行の範囲内で、各原稿内において表記の統一が保たれるようお願いします。

例：

参考文献

Johnson, R. N (2003). “Internal Reasons: Reply to Brady, van Roojen and Gert.” *The Philosophical Quarterly* 53, 573–580.

日本哲学会（2019）『哲学』第69号、知泉書館

以上、本テンプレートの説明を終わります。

1. これらの三説に対するバウムガルテンの評価に関しては、増山（2015）41–49を参照のこと。 [↑](#footnote-ref-1)